

行動規範





CEOからの メッセージ

私は、Mastercardで私たちが行っている仕事に、そして、その在り方に誇りを持っています。倫理的に責任を持って行動することは、正しいことであり、ビジネスを行うための正しい方法でもあります。

また、共に仕事をしていく中で、仕事をどのように行うか、どのようにお互いを支え合っていくかということが、同じように重要であることを、私たち全員が忘れてはならないと思います。私たち全員が、Mastercardのためになすことすべてにおいて、良識をその指針とすべきなのです。

私たちが、良識、説明責任、誠実性という当社の企業文化を構築し続けていくために、これからも是非、皆様のご協力をお願いいたします。これには、不適切、非倫理的、または違法と思われる行為があると疑われる場合に、ためらわずに発言することが含まれます。当社では、これらの勇気ある発言への報復行為は容認されません。

行動規範をよく読んで理解していただき、- Mastercardで遂行する職務のあらゆる場面で業務の一部として役立ててください。当社の評判は皆さんの協力にかかっています。

— Michael



Mastercard取締役会からのメッセージ：

本行動規範はMastercardの倫理&コンプライアンスシステムの基礎を成すものであり、行動および企業倫理の原則を規定します。取締役会のメンバーとして、私たちは本規範を支持し、全面的に支援します。誠実性、良識、信頼、個人の説明責任に基づいたMastercardの文化は私たちの誇りであり、誠実に行動するうえで本規範が指針として役立つことを願っています。

目的

Mastercardのビジョンは、「A World Beyond Cash」（現金を超えた利便性の高い社会）です。ビジョンは強い願望を具体化するものですが、その強い願望がなぜ重要なのかという問いに答えるのが会社の目的です。

Mastercardでは、**CONNECT EVERYONE TO PRICELESS POSSIBILITIES**（すべての人をプライスレスな可能性につなげる）ことを目的としています。

そして、この目的は以下のように私たちの取り組みに転換されます。

目的 マニフェスト

私たちには、つながった世界が見えます。それは人類が一体となり、繁栄が可能で、すべての人に機会が与えられる世界です。

私たちの責任は、人間が持つ基本的な良識を指針として、目的を持って革新し、あらゆる場所で人々の可能性を解き放つことです。

私たちは、すべての接点において信頼性を高め、社会の改善にデータを使用し、社会に力を与えるネットワークを構築します。

私たちは、起業家精神を育て、一体となることで飛躍的な効果をもたらす人々の力を持って、国境はパートナーシップの境界線ではないことを世界に示します。

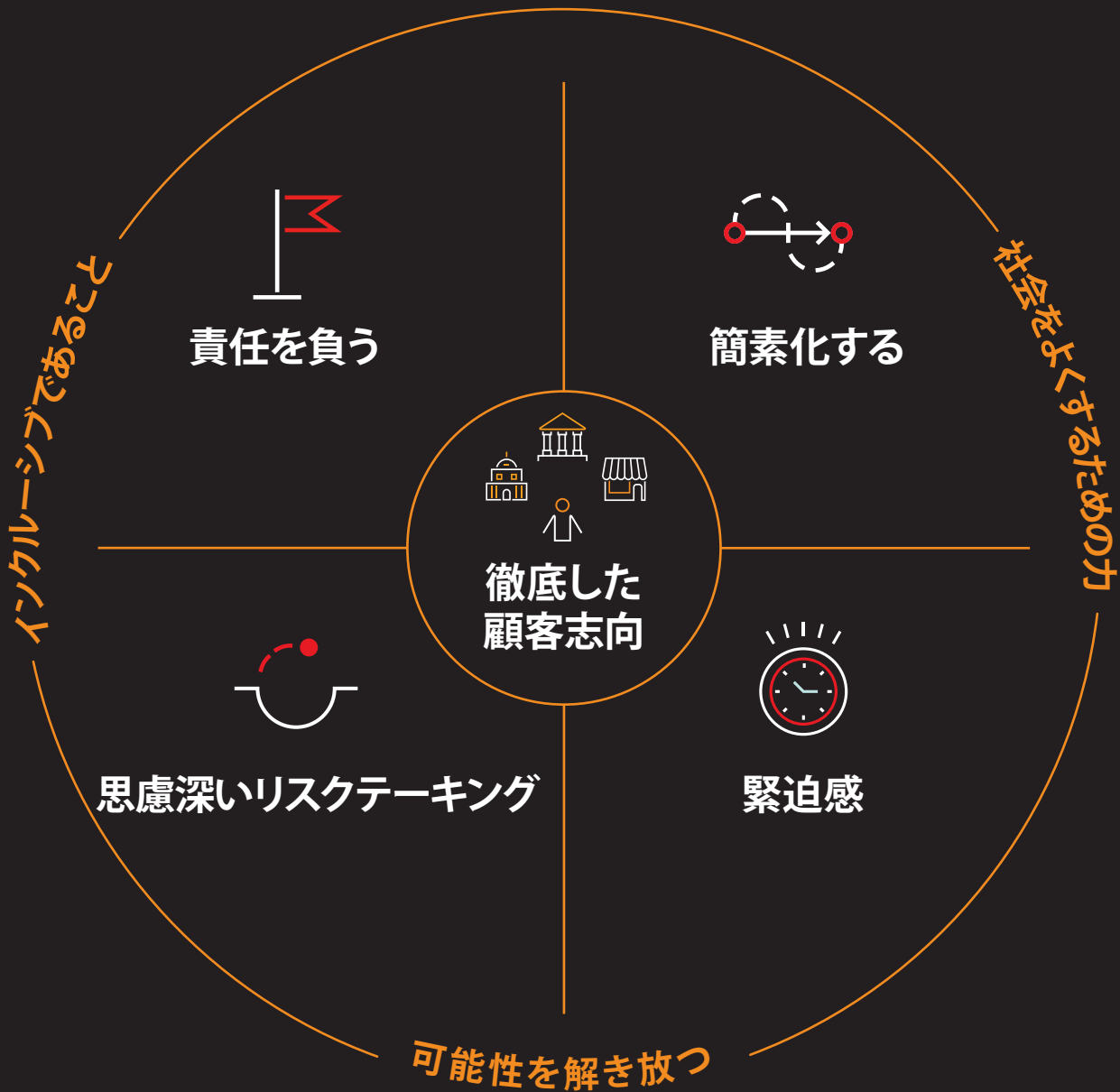
私たちは、テクノロジーによって構築できること以上に、情熱によって達成できることに注目し、経済発展をインクルーシブで持続可能な成長に変換し、前進を続けながら未来を塗り替えます。

私たちの互いのつながりは、私たちが世界とつながる原動力です。そして、共に信じて構築すれば、すべての人にプライスレスな可能性が生み出されます。



私たちが毎日どのように仕事をし、お互いに頼れる存在になるかも同様に重要です。ここで重要な役割を果たすのが「The Mastercard Way」です。これは簡単に言えば当社の社風を明確化するもので、最も重要となるマインドセットと行動が定義されています。

The Mastercard Way



このすべての基盤となるのが「良識指数」



内容

1.	本行動規範の適用対象	1
2.	説明責任の文化	1
3.	率直な意見	2
4.	率直に意見すべき状況とは？	2
5.	マネージャーの責任	3
6.	お互いを尊重しあうこと	3
7.	利益相反を回避すること	4
8.	腐敗行為防止	5
9.	ビジネス上のもてなし、食事、ギフト	6
10.	関連当事者との取引	7
11.	マネーロンダリング防止、制裁措置、輸出規制	7
12.	誠実に成功を収める	8
13.	会計帳簿および取引記録	8
14.	政治活動	9
15.	会社資産の保護	9
16.	情報を資産として保護する	10
17.	インサイダー取引	11
18.	ひとつの声でメッセージを伝えること	11
19.	結論	12
20.	リソース	12



行動規範

本行動規範の適用対象

本規範の規定に対する例外は、チーフコンプライアンスオフィサーおよびゼネラルカウンセル、またある特定の状況では取締役会からの事前の書面による承認が必要となります。取締役または執行役員に関する例外は、取締役会またはその委任を受けた委員会によってのみ承認されることができません。適用法に従って、認められた例外はいずれも速やかに開示されます。

説明責任の文化



懲戒処分の対象となる例

- 法律、本規範、またはその他の企業方針に違反する、もしくは他の人に違反するよう求める
- 既知の、または疑わしい違反を報告しないでおく
- 倫理的な問題や、法律、本規範、またはその他の企業方針に対する違反の疑いを報告した人物に対して報復する
- 法律、本規範、またはその他の企業方針を遵守する目的での、リーダーシップの発揮や努力を怠る
- 故意に虚偽の申し立てを行う
- 調査において全面的な協力を怠る

当社の行動規範は、以下を始めとするMastercardで働く全員に適用されます。

- 世界中のMastercardの社員（被買収企業および子会社を含む）
- Mastercard取締役会メンバー（取締役としての立場で行動する場合）
- Mastercardの派遣社員（Mastercardに代わって行動する場合）

行動規範およびMastercardの関連方針で説明されている基準や手順に従うことは、当社での雇用を継続していくために必要な条件です。当社の行動規範は雇用契約ではなく、特定の雇用権利を伝達したり特定期間の雇用を保証したりするものではありません。

本規範に関する質問はいつでも、法務部の弁護士に相談することが奨励されています。ただし、法務部の弁護士は当社の代理であり、あなたの代理を務めるものではないことを忘れないでください。このような状況の下、彼らは共有された情報を合理的に可能な範囲で機密に扱うよう努めますが、その会話の開示を決定できるのは当社のみです。

十分な知識を得る

本行動規範職責に関連するその他の企業方針をよくお読みください。

本規範ならびにその他の企業方針を、自らの業務にどう適用するか理解してください。

質問してください。本規範に関する質問がある場合、マネージャー、チーフコンプライアンスオフィサー、グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー、ゼネラルカウンセルもしくは法務部弁護士、人事部ビジネスパートナー、または従業員関係に尋ねることはあなたの責任となります。その他の企業方針に関して質問がある場合は、マネージャーまたは方針所有者にお尋ねください。各方針の責任者を確認するには、ハブにある[Mastercardの方針サイト](#)をご覧ください。

責任を果たす

誠実さはあなたから始まります。あなたの行動はすべて、法律、本規範、およびその他の企業方針に準拠していなければなりません。

コンプライアンストレーニングを速やかに修了して、各自の責任について理解しましょう。また、毎年規範の条項を見直し、遵守することを証明する義務があります。

誠実性、公平性、透明性は当社がビジネスを行う上で中核となるものです。

報復を恐れることなく率直に意見を述べ、問題を提起してください。

調査への協力を依頼されたら、迅速かつ誠実に応じてください。

本規範を順守する

Mastercardは正しい方法でビジネスを遂行することに尽力しており、法律、本規範、またはその他の企業方針に対する違反は解雇を含む処罰の対象となります。



行動規範 率直な意見

内部告発者方針は問題を提起する社員を保護するものです。[この方針](#)は、法律違反の疑いや、当文書に記載されているその他の受け入れ難い行為の報告が、適切に対処され、匿名で行われることができるよう、取締役会の監査委員会によって制定されました。

違反行為の報告を受け取った弁護士または人事部ビジネスパートナーは、その問題をグローバル倫理&コンプライアンスチームまたは従業員関係 (ER) に迅速に報告する必要があります。これを怠ることは本規範に対する違反となります。

各自が率直に意見を述べることに責任を持ちます。

当社の方針

皆さんには、特に倫理的な問題や、法律上問題となりうる事柄に関して、意見を述べる権利および責任があります。質問をしたり懸念事項を報告したりすることで、Mastercardならびにあなた自身を守ることになります。Mastercardは、非倫理的行動や違法行為に関するすべての報告を調査します。

あなたの責任

法律、本規範、またはその他の企業方針に対する違反が疑われる場合、または違反がわかった場合は速やかに報告してください。

報告方法

報告は以下のいずれの経路からでも行えます。

- あなたの上司
- チーフコンプライアンスオフィサー
- グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー
- 地域コンプライアンスリーダー
- ゼネラルカウンセル
- 法務部の弁護士
- 従業員関係
- 人事部ビジネスパートナー
- 匿名で報告できる[倫理ヘルプライン](#) (法律で認められている場合) *。国別のダイヤル方法について、またはウェブベースのレポートツールを通じて報告するには、mastercard.ethicspoint.com をご覧ください。

すべての報告は、その状況下で合理的に可能な範囲で機密事項として扱われます。

報復の禁止

- Mastercardは、適用法や規制、本規範、またはその他の企業方針の違反の疑いに関してあなたが意見を述べたり調査に協力したりすることへの、報復の脅し、試み、実際の行為を一切容認しません。
- 合理的な確信に基づいて問題を報告する社員に対する報復は、それ自体が当社規範の違反行為であり、報告される必要があります。

*現地のプライバシー保護法やデータ保護法により、[倫理ヘルプライン](#)の利用に制限が課せられることがあります。

率直に意見すべき状況とは？

その行為は、法律、本規範、またはその他の企業方針に違反しているかもしれないと思うか？

その行為は、不正、非倫理的、または違法であるか？

その行為は、Mastercardの評判を傷つけかねないか？

その行為は、同僚、顧客、投資家など、他の人に損害を与えかねないか？

これらの質問のいずれかに対する答えが「はい」または「たぶん」の場合は率直に意見を述べるべきです。懸念事項を提起する前にすべての情報を揃える必要はありません。疑わしいと思ったら、ためらわずに話してください。



行動規範

マネージャーの責任



模範となって指導する

あなたは手本となる存在です。マネージャーには、模範を示すことで指導すること、そして皆に本規範を守ろうという意欲を起こさせることが期待されます。

誠実さの欠如や、法律、本規範、またはその他の企業方針に対する違反を正当化すること（例：「最終的利益」を向上させるため）は認められません。

倫理に反する行為を決して無視しないでください。

適切な雰囲気作り

企業倫理および誠実さの重要性をオープンに話し合います。

倫理的な問題に関して率直な話し合いを奨励するような、良識、説明責任、およびコンプライアンスの文化を育成し維持しましょう。

違反行為の可能性について社員が質問や問題提起をしたときは、いかなる判断や意見を表すことなく耳を傾けましょう。

報復をしてはいけません。指導者として、率直に意見を述べることに對する報復は断固として容認してはいけません。

問題の上申

問題が起きた場合は、適切なルートで速やかに上層部に報告してください。マネージャーとして、あなたは報告プロセスにおける重要な部分を担っています。

気付いた違反行為はすべて、以下のルートで上層部に報告する必要があります。

- チーフコンプライアンスオフィサー
- グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー
- 地域コンプライアンスリーダー
- ゼネラルカウンセル
- 法務部の弁護士
- 従業員関係
- 人事部ビジネスパートナー

お互いを尊重しあう

人権

Mastercardは人権の尊重と促進に尽力しています。これは、私たちが人として持つ基本的な良識に従ってすべてのことを行わなければならないという、当社の信念に基づいています。良識の社風を形作り、その原動力となるのは当社の社員です。そして社員はその良識を用いて、何をすべきか、そしてさらに重要なことには、それをどのように行うかを判断します。当社のサプライヤー行動規範では、サプライヤーが責任ある倫理的な方法で業務を遂行することが義務付けられており、これには、強制労働を使用しないこと、人権の保護と保全に尽力することが含まれます。詳細については、[当社の人権に関する声明 \(Human Rights Statement\)](#)、[現代労働および人身売買に関する声明 \(Modern Slavery and Human Trafficking Statement\)](#)、および[サプライヤー行動規範](#)を参照してください。

Mastercardの全社員には、公平にかつ良識と敬意、尊厳をもって待遇される権利があります。

当社の方針

当社は、違法な差別、ハラスメント、報復のない、多様でインクルーシブな職場環境の開発と確保に世界中で取り組んでいます。

雇用および昇進機会は、職務資格や業績のみに基づいて決定されなければなりません。

当社は雇用機会の均等を掲げる会社です。以下の理由で差別を行うことなく、適格な人材の募集、採用、教育、昇進を行います。

- 年齢
- 外国人であること、または市民権の有無
- 肌の色、民族性、信条、人種、出身国
- 身体障害
- 性別、性認識、性表現

- 遺伝情報
- 配偶者の有無、家族構成（適用法で定義・認識されている同性関係および同成婚を含む）
- 宗教
- 性（妊娠、出産、授乳を含む）
- 性的指向
- 退役軍人の身分
- 法により差別が禁じられているその他の特徴

あなたの責任

思いやりと尊敬の念を持つこと。当方針で取り上げられている個人的特徴に基づいて同僚を他者と別扱いしたり、共に働くことや協力することを拒んだりしてはいけません。

毎日私たちは、オープンで多様性や一体性がある文化を築き上げるために努力しています。

以下を含む、社員やビジネスパートナーによる差別、ハラスメント、報復は容認されません。

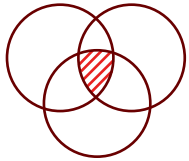
- セクシャルハラスメント
- 品位を傷つける、または攻撃的な発言や冗談
- いじめ
- 暴力、威嚇、脅し

Mastercardの[人事方針](#)を確認してください。この行動規範に従って扱われていないと感じる場合は、人事部ビジネスパートナー、従業員関係の職員、または法務部の弁護士に連絡してください。



行動規範

利益相反を回避すること



利益相反とは?利益相反とは、利益が競合していることにより決断の誠実性が損なわれてしまう、または損なわれているように見える場合、またはMastercardでの職責の妨げとなる可能性がある場合に起こります。たとえば、あなたが社外で有償の仕事を引き受けたいと考えているとします。その場合、雇用主となるかもしれない会社の製品・サービスがMastercardの製品・サービスと競合していれば、利益相反が存在する可能性があります。VIVOエクスプレスを利用してそのような機会を開示し、承認を待ってください。

開示が義務付けられています。利益相反があることは必ずしも規範違反ではありませんが、開示を怠ると違反となります。

公開会社の取締役会に参加する場合はオンラインツールを使って開示する必要があり、最高経営責任者の承認を待つ必要があります。最高責任者による検討はグローバル倫理&コンプライアンスチームによって進められます。

私たちは、各自が常にMastercardの利益を最優先にして行動する義務がありますが、価値あるものを授受する際は特に注意が必要です。

当社の方針

あなたの意図、判断、誠実性、客観性が疑われるような状況は避けてください。利益相反であるという印象を与えるだけでも、実際の相反と同様のダメージをあなたの評判ならびにMastercardの評判に与えます。

あなたの責任

すべての利益相反またはその可能性について、[VIVOエクスプレス](#) (バリューイン・バリューアウト開示&事前承認ツール) を使用して速やかに承認リクエストを提出してください。承認を待ってから事を進めてください。ガイダンスの詳細については、[利益相反ガイドライン \(Conflicts of Interest Guidelines\)](#) を参照してください。

利益相反をもたらす可能性のある状況:



当社の[利益相反ガイドライン \(Conflicts of Interest Guidelines\)](#) および [腐敗行為防止方針 \(Anti-Corruption Policy\)](#) に価値あるものと定義されている物品やサービスなどを他者から提供される、または他の誰かに提供したい



社外で収入を得る機会を望んでいる



親類縁者、もしくは個人的に密接な関係を持つ人との取引、またはそのような人の雇用



第三者によって旅行の費用が支払われる



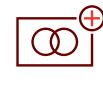
Mastercardの同僚同士が密接な個人的関係にあるが、直属の上下関係にある場合、または利益相反が実際に存在するもしくは存在すると見られている場合。詳細については、[縁故採用に関する方針 \(Nepotism Policy\)](#) および [利益相反ガイドライン \(Conflicts of Interest Guidelines\)](#) を参照してください。



自身や家族、親しい友人がMastercardの顧客、ビジネスパートナー、またはベンダーにより金銭的利益を得る機会を与えられる



たとえ無償の役職であっても、営利事業の取締役会または諮問委員会に参加すること (非営利団体の取締役会への参加に関しては、[利益相反ガイドライン \(Conflict of Interest Guidelines\)](#) を参考にしてください)



Mastercardの競合会社、あるいはMastercardと取引があるまたはそれを望んでいる事業体との金銭的利益関係の保持を望んでいる



家族がMastercardの競合他社に雇用されている場合、またはMastercardの競合他社と取引をしている、もしくは取引を求めている場合



Mastercardの利害と競合する、または競合しているように見えることを行う





質問をし、懸念事項を報告してください。マネージャー、チーフコンプライアンスオフィサー、グローバル倫理&コンプライアンス調査チームのメンバー、地域コンプライアンスリーダー、ゼネラルカウンセラー、法務部弁護士、従業員関係、人事部ビジネスパートナーに連絡するか、[倫理ヘルプライン](#)を利用してください。

当社は、最高水準の企業倫理を維持し、贈収賄を防止することに尽力しています。

当社の方針

当社は、取引を不正に獲得または維持したり、不適切な優位性を確保したり、不正に行動するよう影響を与えたりするために、金銭や価値あるものを誰かに提案、約束、贈与することはしません。また、直接間接を問わず、賄賂、報酬、またはその他の不正な利益を、Mastercardによって予定されるもしくは締結される取引と関連付けて勧誘する、受理する、または受理しようとしてもいけません。

私たちは、不正と見られるような状況を生む活動に携わりません。

自分たちでは取れない行動を、第三者を使って行うことはしません。第三者がMastercardの代わりに違法な支払いや腐敗行為を行うかもしれないという「危険信号」を無視しません。

会計帳簿および取引記録を維持します。取引の規模に関わらず、当社の資金がどのように使われているかを公正かつ正確に把握します。

あなたの責任

本規範の対象となるすべての個人は、当社の[腐敗行為防止方針 \(Anti-Corruption Policy\)](#) ならびに関連手順について理解する責任があります。この方針では、特定の支払い、第三者、事業活動、利益相反、および記録管理の適切な方法について説明しています。



支払い。 不適切な影響または報酬を与える目的で、直接的または間接的に、金銭や価値あるものを誰かに約束、許可、贈与しないでください。ファシリテーション ペイメント (行政サービスの円滑化を図るための支払い) は禁じられています。



第三者 すべての第三者は必ず、その行為がMastercardの高水準の企業倫理に合致し、そのサービスと請求書が契約に一致することを確実にするため、契約の前に適切に評価され、正式に雇われ、監視されます。



事業活動 ビジネス上の意思決定に不適切な影響または報酬を与える目的で、顧客や見込み客、Mastercardの監視を行う政府の規制当局に対し、ビジネス上のもてなし、食事、ギフト、慈善事業への寄付、候補者の採用、または価値あるものを提供してはいけません。



利益相反 Mastercardでの任務において下す判断により、個人的に利益を得ることになるような状況を避けてください。既存の顧客、見込み客や見込みベンダーとの間に進行中の取引がある間は、価値あるものが提供または享受されるような状況に気を配ってください。



記録管理 Mastercardの会計帳簿に、各取引を真実かつ正確に記録してください。会社資産の会計報告および配布に関する会社の内部統制を回避してはなりません。



行動規範

ビジネス上のもてなし、
食事、ギフト



ビジネス上のもてなしには、食事、旅行、イベント、接待が含まれます。これらは、当社の[腐敗行為防止方針 \(Anti-Corruption Policy\)](#) で定められる「価値あるもの」の定義の範囲に入ります。

ビジネス上のもてなし、食事、ギフトの贈与・受領に関して、適切な判断を下します。

当社の方針

もてなし、食事、ギフトはビジネスにおいてはよく見られる行為で、世界各国の文化によって異なります。しかしながら、不適切な意図を持って提供される場合や、贅沢すぎたり頻繁に行われたりする場合、これらの行為は許可されません。また、贈収賄防止ならびに汚職防止の適用法に関与している場合もあり、Mastercardおよびあなた自身を民事的・刑事的責任の対象にしかねません。これは特に、政府関係者や、国有または国営の事業体における従業員（対象となる国家公務員）の利益のために支払われる経費について当てはまります。

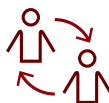
対象となる公務員が価値あるものを受け取らない場合でも、基準となる金額や禁じられる状況（進行中の取引など）がある可能性がありますので注意してください。

当社は、ビジネス上の客観的な意思決定を下す能力に影響を与えるまたは与えるように見える、ビジネス上のもてなし、食事、ギフト、価値あるものを提供することは認めません。

あなたの責任



ビジネス上の意思決定に不適切な影響または報酬を与える目的で、価値あるものを贈ることはしません。



法に反する、もしくは当社の[ビジネス上のもてなし、食事、ギフトに関する手順 \(Business Hospitality, Meals and Gifts Procedure\)](#)、[利益相反ガイドライン \(Conflicts of Interest Guidelines\)](#)、または受け取る事業体の方針に違反する価値あるものを贈ったり受け取ったりしないでください。



Mastercardは、[腐敗行為防止方針 \(Anti-Corruption Policy\)](#) に従い、Mastercardの代わりに働く第三者が、取引を獲得または維持したり、Mastercardのために不適切な優位性を確保したりする目的で、直接間接を問わず、ビジネス上のもてなし、食事、ギフトを含む価値あるものを誰かに贈ることを固く禁じています。



本規範の対象となるすべての個人は、当社の[ビジネス上のもてなし、食事、ギフトに関する手順 \(Business Hospitality, Meals and Gifts Procedure\)](#)、[利益相反ガイドライン \(Conflicts of Interest Guidelines\)](#)、および[企業慈善活動方針 \(Corporate Philanthropy Policy\)](#) について理解し、該当する場合は[VIVOエクスプレス開示&事前承認ツール](#)を使う責任があります。



贈ったり受け取ったりした価値あるものは、当社の[腐敗行為防止方針 \(Anti-Corruption Policy\)](#)、[ビジネス上のもてなし、食事、ギフトに関する手順 \(Business Hospitality, Meals and Gifts Procedure\)](#)、[利益相反ガイドライン \(Conflicts of Interest Guidelines\)](#)、[グローバルトラベル&エンターテイメントおよびコーポレート・トラベル&エンターテイメントカード方針 \(Global Travel & Entertainment and Corporate T&E Card Policy\)](#)、および[企業慈善活動方針 \(Corporate Philanthropy Policy\)](#) に従い、Mastercardの財務書類、会計帳簿、取引記録に適切に文書化および記録してください。





Mastercardの取締役会および執行役員は、Mastercardへの義務の遂行に支障をきたすことのないよう、特別な配慮が必要です。

当社の方針

取締役および執行役員は、正直で倫理的に、さらに誠実さをもって行動する義務があります。

取締役および執行役員は、「関連当事者との取引」を開示する必要があります。

取締役および執行役員の責任

関連当事者との取引はゼネラルカウンスルに速やかに開示してください。関連当事者との取引は、取締役会、または3人以上の公平な取締役で構成されている取締役委員会の一つによる承認または裁可なしに開始または続行してはいけません。

「関連当事者との取引」とは？

関連当事者との取引とは、US \$120,000（負債または負債保証を含む）を超えるMastercardが関与する取引で、その「関連当事者」に直接的または間接的に重要な利害関係があった、もしくは将来ある取引のことです。

「関連当事者」とは誰か？

「関連当事者」には以下が含まれます。

- 執行役員（会計検査官を除く、セクション16の報告義務の対象となる幹部）
- 取締役会メンバー
- Mastercardの証券を5%以上所有している受益株主
- 上記いずれかの近親者
- 上記のいずれかにより実質的に所有または管理されている事業体

マネーロンダリング防止、制裁措置、輸出規制

当社は、マネーロンダリングやテロ資金供与を阻止し、制裁措置および輸出規制に従います。

当社の方針

私たちは、当社の手続き、サービス、技術がマネーロンダリングやテロ資金供与に使われるのを防ぐことに配慮しています。

当社の製品およびサービスが、輸出規制を含む制裁措置の対象となる個人や事業体によって使用されることを防ぎます。

当社の[グローバルマネーロンダリング防止 \(Global Anti-Money Laundering\)](#)、[テロ資金対策および経済制裁措置 \(Counter-Terrorism Financing and Economic Sanctions Policy\)](#)、および[輸出管理コンプライアンス方針 \(Export Controls Compliance Policy\)](#) について理解し、これに従うことが必要です。

あなたの責任

マネーロンダリング、テロ資金供与、または適用される制裁措置や輸出

に基づく制限に違反する活動の可能性に警戒してください。

合法的な資金源から得られた資金を使う、合法的なビジネスを目的とした、定評あるビジネスパートナーとのみ取引するようにします。

質問をし、懸念事項を報告してください。質問がある場合、または誰かがMastercardの製品またはシステムをマネーロンダリングやテロ資金供与に利用している、もしくは制裁措置や輸出に基づく制限に違反していることが分かった場合または疑わしい場合は、チーフコンプライアンスオフィサー、地域コンプライアンスリーダー、グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー、マネーロンダリング防止/制限措置/輸出規制チームのメンバー、ゼネラルカウンスル、法務部弁護士に連絡するか、[倫理ヘルプライン](#)を利用してください。

制裁措置とは？

経済的制裁とは、個人または事業体をグローバル経済から孤立あるいは排除するため、政府または国際機関によって課せられる金融規制です。

輸出規制とは？

輸出規制とは、ある国から別の国へ対象となるハードウェア、ソフトウェア、および技術を送る当社の能力に、制限がかけられたり禁止されたりすることです。

マネーロンダリングとは？

マネーロンダリングとは、違法な資金を、合法的な資金源あるいは取引によって入手したように見せかけることによって「洗浄」するプロセスです。

テロ資金供与とは？

テロ資金供与とは、資金源の合法性に関わらず、テロリスト組織と関連する個人に資金を提供することです。



行動規範

誠実に成功を収めること

事業者団体や業界団体、あるいはその他合法的な競合他社とのビジネスに関する戦略的議論への参加は、独自のリスクを呈するものであり、事前に法務部門から承認を得る必要があります。

当社は、誠実な企業競争を通して成功を収めることに力を注いでいます。

当社の方針

各社員は、Mastercardの顧客、サービスプロバイダー、サプライヤー、社員、および競合他社など、当社の利害関係者全員を公平に扱うよう努力しなければなりません。

私たちは、巧みな操作、隠匿、競合他社やその他の企業体の専有情報や機密情報の悪用、重要な事実の虚偽陳述、不正な取引や慣習を通して、不当な優位性を得ることはしません。

私たちは適用される競争法を常に順守します。

詳細については[反トラスト法および競争法に関する方針 \(Antitrust and Competition Law Policy\)](#)を参照してください。

あなたの責任

当社の製品やサービスを常に正確かつ誠実に売り込みます。

慎重に扱うべきビジネス情報を競合他社と話し合ってははいけません。また、競争上注意を要する情報が顧客の間で共有されるように手助してはしてはなりません。当社の競合他社と以下を行ったり、当社の顧客グループが以下を行ったりすることを手助けすることは、固く禁じられています。

- 価格設定または価格設定方針について話し合う
- 戦略的事業計画について話し合う
- 当社が販売している製品やサービスの価格や条件について同意する
- 市場、顧客、または地理的受け持ち地域を分け合うことに同意する
- 顧客、サプライヤー、または他の競合会社をボイコットすることに同意する

互いに競争を制限するために競合他社と合意を交わすことは、たとえそう見えるだけであっても避けてください。

ごまかし、盗難、またはその他の違法なもしくは非倫理的な手段を用いて、当社の機密の非公開情報を共有したり、競合他社から、または競合他社に関する機密の非公開情報を求めたりしてはいけません。

前の雇用主の機密情報や慎重に扱うべきビジネス情報を使用したり、それをMastercardと共有したりしないでください。

会計帳簿および取引記録

以下の場合、直ちに懸念事項を[倫理ヘルプライン](#)を利用して報告するか、グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー、ゼネラルカウンセル事務所、もしくは法務部の弁護士に報告してください。

- 当社の帳簿や記録が、詐欺的、不正確、または不完全な形で維持されていると疑われる場合
- Mastercardの財務情報を変更、改ざん、または虚偽表示するよう圧力をかけられていると感じる場合
- 第三者が誤解を招くもしくは虚偽の決算を立てるためにMastercardを利用しようとしていると思われる場合

会計帳簿や取引記録を誠実かつ正確に維持します。

当社の方針

私たちはMastercardの帳簿や記録が、取引実態を正確、公正、そして合理的に反映するようにする責任を担っています。

故意に情報や活動を会社の書類や報告書で不正確に伝えることは、当社方針に対する重大な違反で、法律違反の可能性もあります。これはあなた個人や会社にとって、深刻な結果をもたらしかねません。

Mastercardの帳簿や記録は、当社の会計方針および社内管理要件に従わなければなりません。

あなたの責任

以下の行為は、固く禁止されています。

- 当社の業務記録の事実または情報を改ざん、省略、虚偽表示、変更、隠蔽する
- 当社の業務記録の事実または情報を改ざん、省略、虚偽表示、変更、隠蔽するよう、他人を促すもしくは許可する

顧客、業者、ビジネスパートナー、またはベンダーが財務諸表で誤解を招くような結果を実現しようとしている（収入、収益、キャッシュフロー、貸借対照表、または別の方法のいずれかに関わらず）と思う場合、いかなる取引も行ってはなりません。





政治プロセスには責任をもって倫理的に関与します。

当社の方針

Mastercardは、当社の政治活動に関連して、すべての適用法や規制を遵守します。

Mastercardが関与する政治活動は、会社ならびに当社が事業を展開している地域社会の最善の利益のみに基づいたもので、会社役員や幹部の個人的な政治的嗜好によるものではありません。

Mastercardでは、合法であり、Mastercardにおけるあなたの立場と衝突しない限り、社員が各自の自由時間を使って市民活動や慈善活動、政治活動に参加することを奨励しています。ただし、政治活動または市民活動に参加する場合は、Mastercardの代表としてではなく一市民として参加することになります。

あなたの責任

企業による政治献金や支出には、ゼネラルカウンセル、グローバル方針およびアドボカシーからの事前の書面による承認が必要です。

個人の政治活動に対してMastercardの資金を使ったり、立替経費として会社に精算を要求したりしないでください。

社外の市民活動や政治活動と、Mastercardでのあなたの立場の間にも利益相反が発生する可能性があることに気をつけてください。

当社の[政治参加、ロビー活動、および政治献金に関する方針 \(Political Participation, Lobbying and Contributions Policy\)](#) および[政治活動および公共政策に関する声明 \(Political Activity and Public Policy Statement\)](#) を理解し、これに従ってください。

当社の有形および無形資産を保護します。

会社資産の保護



知的財産とは? 知的財産とは人間の知的創造物のことを指し、商標、企業秘密、著作権、ドメイン名、特許などが含まれます。

専有情報とは?

財務データ、マーケティング計画および戦略計画、企業秘密などの、機密で公表されていない情報のことです。

当社の方針

情報は注意して取り扱います。Mastercard、その顧客、サプライヤー、ビジネスパートナー、第三者に関する機密情報、競争上注意を要する情報、専有情報、または契約によりMastercardが非公開を義務付けられている情報などを入手することもあります。そのような情報は、Mastercardが公開する権利を有している、またはすでに公開済みであると分かっている場合を除いて、機密情報として取り扱われなければなりません。

私たちは、当社の知的財産およびその他の専有情報を入念に保護しており、また、他者の有効な知的財産権も尊重します。

Mastercardは、あなたがその雇用に関連して、または会社の就業時間やリソースを使用している間に創造・開発するあらゆる情報、アイデア、革新に対するすべての知的財産権の単独の所有者であり、必要であれば、あなたはこの所有権を認めるのに必要な文書に署名することになります。

MastercardのシステムおよびMastercardが用意する電子デバイスは、主にビジネスでの利用を対象としています。制限された適切な個人的利用は容認されていますが、あなたの仕事を妨げることなく会社の方針や基準に違反しないということが前提となっています。詳細については、当社の[許可される利用と責任規範 \(Acceptable Use and Responsibilities Standard\)](#) をご覧ください。

あなたの責任

- [知的財産方針 \(Intellectual Property Policy\)](#) を理解し、これに従う
- 当社の資産および情報を守る責任を負う
- 機密情報、専有情報、競争上注意を要する情報、または個人情報、事前の承認なしに知る必要のない社外の人物（家族であろうと）に提供しない
- 機密情報は必要な場合に同僚とのみ共有する
- 顧客データを扱う際は、常に顧客との契約を順守する



行動規範

会社資産の保護

- ・ 事前の承認なしに第三者が当社の知的財産を使用することを許容せず、また許可を得ずに他者の知的財産を使用しない
- ・ 自分の雇用に関連して、または会社の就業時間やリソースを使用している間に考案、発見、開発したことはすべて、Mastercardに速やかに開示する
- ・ Mastercardのデバイスやシステムを、不適切な、性的に露骨な、または差別的なものなど、違法なまたは不適切な目的に使用しない
- ・ 会社での雇用または提携関係の終了時には、会社のすべての専有情報および機密情報を返却しなければならない

情報を資産として保護する



Mastercard情報資産または情報資産とは？

(i) Mastercardの知的財産、(ii) 私たちが受領、所有、送信する、非公開情報や個人を特定できる情報、および (iii) そのようなデータから作成されたすべての情報（機械学習や人工知能から得られた洞察、分析、解決法など）を含む、会社が所有するあらゆる情報を意味します。

例には以下が含まれます。

- ・ 集合データ
- ・ 匿名取引データ
- ・ 取引関係者データ
- ・ 企業業績データ
- ・ 極秘取引データ
- ・ 消費者データ
- ・ 顧客報告データ
- ・ 加盟店データ
- ・ 社員データ
- ・ 機密データ

Mastercardの情報資産を保護します。

当社の方針

私たちは、適用されるすべての法令を順守し、情報資産の適切な使用と保護を確実にすることで当社のブランドと評判を守ります。これには、Mastercardとその社員、または当社の顧客、サプライヤー、ビジネスパートナー、消費者などの第三者に関する競争上注意を要する情報や専有情報、個人情報、機密情報が含まれます。

すべての機密情報、情報資産、および個人情報は、当社の[グローバルプライバシー&データ保護方針 \(Global Privacy and Data Protection Policy\)](#)、[企業セキュリティ方針 \(Corporate Security Policy\)](#)、[記録管理方針 \(Records Management Policy\)](#)、[完全クリアデスク基準 \(Completely Clear Desk Standard\)](#)、および適用される法令に従って取り扱います。

あなたの責任

皆さんには、当社の[記録管理方針 \(Records Management Policy\)](#) に従って情報の保持・破棄を管理する責任があります。

Mastercardの情報資産を守る責任があります。重要なステップには、情報の機密性の決定、所有権確立、および必要とされる保護レベルの決定などが含まれます。

また、[グローバルプライバシー&データ保護原則 \(Global Privacy and Data Protection Principles\)](#) を含む、当社の[グローバルプライバシー&データ保護方針 \(Global Privacy and Data Protection Policy\)](#)、および[企業セキュリティ方針 \(Corporate Security Policy\)](#) を理解し、それに従う責任があります。以下を実行してください：

- ・ 特定のビジネス活動に必要なデータのみを収集する
- ・ 合法的なビジネスを目的とした場合にのみ個人情報にアクセスする
- ・ 個人情報およびその他の機密データの保存や廃棄は安全な方法で実施する
- ・ 個人情報の送信（リスクがある場合に備えて暗号化によって安全に行う）は、本来の目的にのみ使用し、その機密性を保護することが義務付けられた、許可された関係者向けのみとする

データに関する事件やセキュリティリスクの可能性がある場合は、チーフセキュリティオフィサーまたはセキュリティオペレーションズセンターまで、Eメール (SOC@mastercard.com) または電話（ダイヤル方法についてはセキュリティオペレーションズセンターの[ウェブページ](#)を参照）にて速やかに報告してください。

法執行機関または政府当局からのものを含む第三者から受けた取引データまたは個人情報（[グローバルプライバシー&データ保護方針 \(Global Privacy and Data Protection Policy\)](#) に定義）の要請はすべて、チーフプライバシーオフィサーに付託される必要があります。

データに関する責任の原則

当社では、個人をあらゆるデータ慣行の中心に据えた個人情報の管理に尽力しています。個人は各自のデータの使用から利益を得られるべきであり、また当社がそのデータをどのように使用しているかを理解し、その使用を管理できることのほか、プライバシーとセキュリティを享受できるべきだと当社は考えています。当社では常に安全で倫理的な、法律に準拠した、かつ個人に有益な方法でデータを取り扱うことに努めています。Mastercardでは、責任あるデータ管理者としての務めを継続する上で当社のデータ慣行の指針となる6つの原則を掲げています。

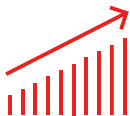
- ・ セキュリティとプライバシー
- ・ 透明性と管理
- ・ 説明責任
- ・ 完全性
- ・ イノベーション
- ・ 社会的影響

詳細については、当社のデータに関する責任（Data Responsibility）の[ウェブページ](#)をご覧ください。



行動規範

インサイダー取引



「重要な非公開情報」 とは？

(a)情報がまだ公に広まっていない場合、および(b)特定株式の売買にあたって、合理的な投資家が決定に際して考慮する情報である場合に、情報は重要な非公開情報であると見なされます。

Mastercardは、重大な合併や買収に関する取引についての情報など、重要な非公開情報を持つ社員によるすべての取引を禁止するよう決定する場合があります。

ひとつの声でメッセージを伝えること

Mastercardの社員は重要な非公開情報を開示したり、それに基づいた取引を行ったりしてはいけません。

当社の方針

重要な非公開情報の悪用は当社の方針に対する違反行為であり、法律違反の可能性もあります。

あなたの責任

MastercardまたはMastercardに関与する他社についての重要な非公開情報を所有している場合、それらの株式を取引することは禁じられています。この禁止は、世界中のすべての社員を対象とし、Mastercard株式の売買、オプション取引、あるいは株式の売却を含むすべてのMastercard証券の取引に適用されます。

重要な未公開情報の開示は、Mastercardやあなたにとって重大な影響をもたらすことがあります。従って、このようなタイプの情報は、家族や友人を含む、社外の人には開示するべきではありません。そのような情報に関する「ヒント」を与えて、その人が取引できるようにすることも同様です。Mastercard社内でのみ、かつ必要な場合に限り開示してください。

Mastercardへの長期的投資に合致しない取引活動、もしくはMastercard株式の市場価格下落のリスクを分散させるまたは相殺するような活動を行わないでください。

質問してください。不明な点がある場合は、当社の[インサイダー取引方針 \(Insider Trading Policy\)](#) および[インサイダー取引に対する手続き \(Insider Trading Procedures\)](#) を参照するか、事務部長または法務部の他の証券カウンセラーまでご連絡ください。



一部の社員は、取引期間や必須の事前承認など、当社の[インサイダー取引方針 \(Insider Trading Policy\)](#) に規定されている特定の取引制限の対象となる場合があります。

Mastercardがビジネス全体を通して一貫性を持ち、当社の評判とブランドを守るためには、「ひとつの声」でコミュニケーションを図ることが重要です。

当社の方針

一貫性がある正確な情報を社外の人たちに伝えることは、当社の評判にとって大変重要であり、規制義務や法的義務を果たすために必要です。マスコミやソーシャルメディアに対し、または外部イベント、会議、業界トレードショー、フォーラムなどでMastercardを代表して発言することができるのは、Mastercardの許可された人のみです。

あなたの責任

[企業コミュニケーション方針 \(Corporate Communications Policy\)](#) を理解し、これに従ってください。

マスコミまたは業界アナリストからの質問には答えないでください。関連のある電話やEメールは、企業コミュニケーションチームまたは地域のコミュニケーションチームに転送してください。

Mastercardの代表として報道陣に積極的に接触を図ってはいけません。

金融業界からの問い合わせに対するすべての接触および回答は、インバスターリレーションズに回してください。

ソーシャルメディアは、当社の[ソーシャルメディア方針 \(Social Media Policy\)](#) に従って、責任、敬意、透明性をもって使用してください。

- Mastercardで得た機密情報を暴露しないこと
- 個人的立場でMastercardのプログラムについて発言したり、Mastercardの製品やサービスを勧めたりする場合は、あなたが社員であることを明らかにすること

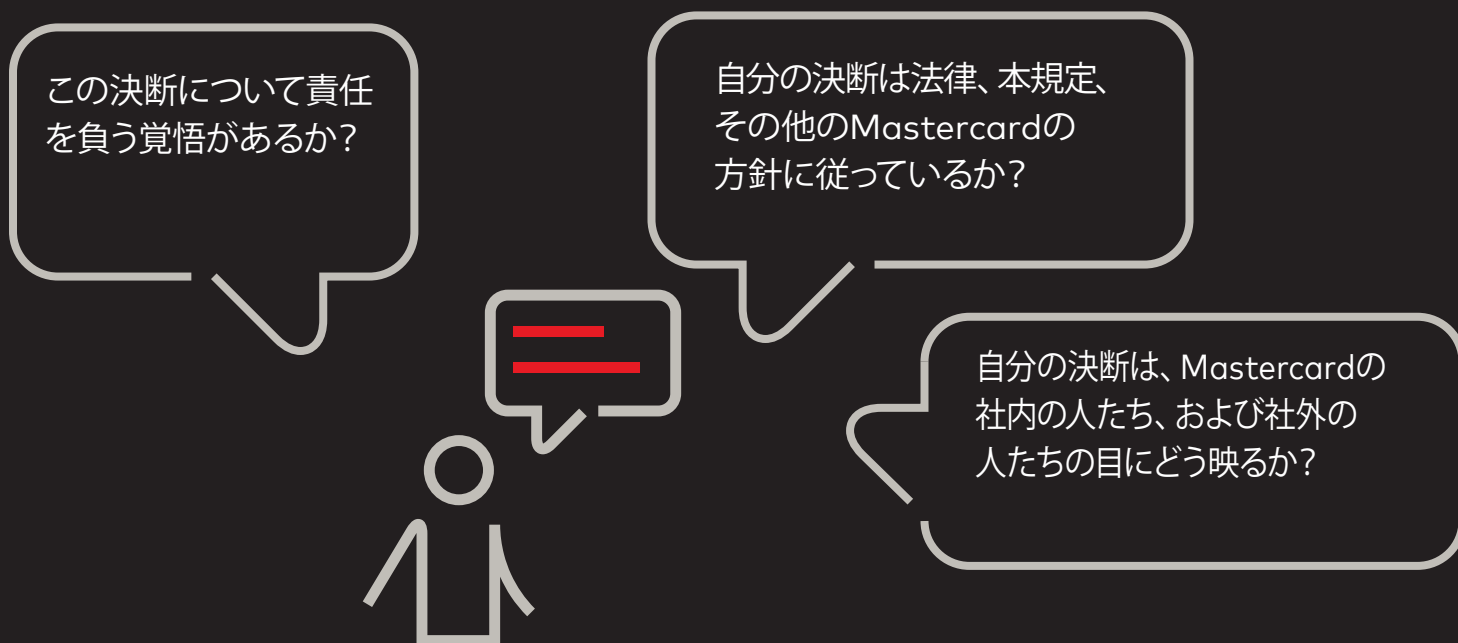


結論

誠実さはあなたから始まります。

倫理的で適切なことについて、難しい決断を下さなければならない時があるかもしれません。本規範およびその他の企業方針は、あなたを導くためにあります。これらのリソースがあなたの質問への直接の回答になっていない場合は、その問題に関連する本規範およびその他の企業方針の精神および説明を考慮して行動するようにしてください。

自らの判断で決めます。自分に問いかけてみましょう：



まだ確信がない場合は、マネージャー、チーフコンプライアンスオフィサー、グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー、ゼネラルカウンセル、法務部の弁護士、従業員関係、もしくは人事部ビジネスパートナーに相談してください。

リソース

ご質問がありますか？グローバル倫理&コンプライアンスチームが行動規範についての質問にお答えします。また、規範違反の可能性に関する懸念事項についてもご相談ください。詳細または主な連絡先については[コンプライアンスコーナー](#)のウェブページをご覧ください。

ためらわずに発言してください。法律、本行動規範、またはその他の企業方針に対する違反が疑われる場合、またはその可能性がある場合は以下の担当者に報告してください。

- あなたの上司
- チーフコンプライアンスオフィサー
- 地域コンプライアンスリーダー
- グローバル倫理&コンプライアンスチームのメンバー
- ゼネラルカウンセル
- 法務部の弁護士

- 従業員関係
- 人事部ビジネスパートナー
- 匿名で報告できる[倫理ヘルプライン](#)（法律で認められている場合）*。
www.Mastercard.ethicspoint.comでは、国別のダイヤル方法に簡単にアクセスしたり、ウェブベースのレポートツールを通じて報告したりすることも可能

*現地のプライバシー保護法やデータ保護法により、倫理ヘルプラインの利用に制限が課せられることがあります。



